

平成三十一年度 大学入試センター試験概況分析

二〇一九年度大学入試センター試験は、一月十九日・二十日の両日に、全国六九三の会場を実施され、本校生はいわき明星大学(四月より医療衛生大学)にて、五三名が受験しました。

志願者は五七六、八三〇人前年度より二、六七一人・前年比九九%、受験者は五四六、一八八人(前年度五四四、二二八)といずれも減少しました。大学入試センターが発表した志願者数の現年度の内訳を見ると、現役志願者は昨年の四七三、五七〇人から四六四、九五〇人と、六〇人減少(前年比九八・二%)しました。

また各地で監督官の一人などはありましたが、天候による交通機関の乱れなどは、大きな影響はありませんでした。英語のリスニングテストで、ICプレイヤーの不具合等による再開テストが六十二試験場であり六七人が受験しました。また、試験終了後、大学入試センターは東京・宮城・三重の三都県で試験中の不正行為があったことを公表しました。不正の内容は、試験終了後のマークシート

の修正、試験中のスマートフォンや定規の使用などで、当該の受験生の成績は科目無効とされました。

全体的には目新しい出題は少ない傾向に大きな変化はなかったものの、昨年に続き、対話形式の出題や図の読み取りから考察する問題がみられました。たとえば地理Bでは、さまざまな図表を用いて、読み取りと基本的な知識を結びつけて解答させる問題がみられました。また、英語筆記では、

を問う問題となっていました。今年の大学入試センター試験の難易度はどうだったのでしょうか。

英語・国語・数学の主要三科目については、英語の筆記試験が昨年と同程度、英語のリスニング、国語、数学II・Bが昨年よりやや簡単、数学I・Aは若干難しくなりました。理科系は物理・地学が昨年並み、生物がやや簡単、化学は昨年より難しくなっています。社会系をみてみると、日本史Bと政治経済は昨年並みで、世界史B、地理B、現代社会、倫理は昨年より若干難しい傾向にあったようです。

(河合塾 Kei-enetより抜粋)

センター試験 基本のき

大学入試センター試験(センター試験)は、大学受験生の約八割が受験をされる、センター試験を中心とした試験を展開しているとも言われています。国公立大学志願者は原則として受験が義務づけられていて、私立大学の約九割でセンター試験を利用するなど、大学入試の軸となる試験です。

センター試験は、高校での学習の到達度をみる学力試験のことであり、これを合格判定に利用する大学が大学入試センターと協力して毎年行われています。

センター試験の詳細をまとめた『受験案内』(出願書類)は、九月下旬から配付されます。本校は現役生の場合、学校で配付しています。『受験案内』をよく読んで、間違いないようにセンター試験に出願します。センター試験(本試験：二〇二〇年一月十八日(土)・十九日(日)実施)を受験

2019年	
9月上旬～	受験案内配付
9月上旬～10月上旬頃	検定料等払い込み
9月末頃～10月上旬頃	出願期間
10月末頃までに到着	確認ががき送付(登録内容の確認)
12月中旬頃までに到着	受験票等の送付(受験票/写真票/成績請求票/受験上の注意)
2020年	
1月18日(土)、19日(日)	本試験実施 正解等の発表
1月22日(水)頃予定	平均点等の中間発表
1月24日(金)予定	得点調整実施の有無の発表
1月25日(土)、26日(日)	追(再)試験実施
2月上旬予定	平均点等の最終発表
4月中旬以降	成績通知書の送付(出願時に希望した者のみ)

知らないままで取り返しが付かないことになる

第一学年主任 川島 仁

高校生活を始めたばかりの一年生にだからこそ言っておきたいことがあります。

①大学受験生としてのスタート位置を知る
高校受験は、殆どいわき市内の中学生で競いました。しかし、大学受験は日本全国の進路を考えている高校生がライバルとなります。

②日々の授業が大切
模擬試験の結果から大学の合格可能性が分かるため、学校の試験より模擬試験の方を重視する人がいます。しかしそれは間違いです。「基礎がしっかり身につけていなければ応用力を磨くことはできません。」

③欠席日数の持つ意味
④自分の適性の正しい判断
⑤自分の高校生活を記録しておくこと

◆センター試験 平均点

教科・科目	満点	2019年度平均点	2018年度平均点	前年との差
外国語				
英語(筆記)	200	123.3	123.75	-0.45
英語(リスニング)	50	31.42	22.67	8.75
数学				
① 数学I・数学A	100	36.71	33.82	2.89
② 数学II・数学B	100	59.68	61.91	-2.23
① 物理基礎	100	30	25.97	4.03
② 化学基礎	100	53.21	51.07	2.14
③ 生物基礎	100	29.62	34.13	-4.51
④ 地理基礎	100	59.68	61.91	-2.23
⑤ 物理	100	54.67	60.57	-5.9
⑥ 化学	100	62.89	61.36	1.53
⑦ 生物	100	46.34	48.58	-2.24
⑧ 地理	100	47.57	39.58	7.99
⑨ 世界史A	100	65.36	67.97	-2.61
⑩ 世界史B	100	50.6	46.19	4.41
⑪ 日本史A	100	63.54	62.19	1.35
⑫ 日本史B	100	57.11	50.03	7.08
⑬ 地理A	100	62.03	67.99	-5.96
⑭ 地理B	100	56.76	58.22	-1.46
⑮ 現代社会	100	62.25	67.78	-5.53
⑯ 倫理	100	56.24	56.39	-0.15
⑰ 政治・経済	100	64.22	73.08	-8.86
⑱ 倫理、政治・経済	100			

2019年2月7日更新

り返し復習しましょう。模試は自分の弱点をすぐに発見することができ、その弱点を中心に克服していきやすいです。模試は君まつていくはず。模試は君まつていくはず。模試は君まつていくはず。

センター試験は、高校での学習の到達度をみる学力試験のことであり、これを合格判定に利用する大学が大学入試センターと協力して毎年行われています。

センター試験の詳細をまとめた『受験案内』(出願書類)は、九月下旬から配付されます。本校は現役生の場合、学校で配付しています。『受験案内』をよく読んで、間違いないようにセンター試験に出願します。センター試験(本試験：二〇二〇年一月十八日(土)・十九日(日)実施)を受験

二〇二二年から 大学入学共通テストに

センター試験は二〇二〇年一月の実施をもって三〇年の歴史に幕をおろします。二〇二二年から大学入学共通テストの導入準備が進められていて、しみが大きく変わります。従来の知識偏重型のテストから、知識を前提にそれを活用する思考力・判断力・表現力を問うテストへと改善するのが狙い。また、新テストの詳細はまだ検討中の部分があります。

大きなポイントとしては従来のようなマークシート問題に加えて記述式の問題が導入されることです。記述式導入の対象教科は当面「国語」と「数学」とされており、両教科とも三問程度出題される見込みです。

一方従来のマークシート問題に代わって、複数の資料から様々な情報を組み合わせる必要がある問題や、正解が一つに限られない問題など、思考力・判断力・表現力を重視した出題に見直されつつあります。基礎的な知識が定着していることを前提に、より高度な能力が求められることになるでしょう。

さらに英語では外部検定(英検、GTEC)で四技能(読む・聞く・話す・書く)を評価することが挙げられ、民間の英語資格・検定試験を積極的に活用する方向性が示されています。受験生は、高校三年生の四月・五月の期間内に受検した「大学入試英語成績提供システム」に参加する民間の資格・検定試験の成績を、最大一回も利用することが出来ます。

旅路が厳しくても…夢に向かって前進!

第二学年主任 豊田 浩美

「二年生は中だるみする学年」というのは本当でしょうか。一年生は高校生活の何もかもが初めてで、手探りの緊張感が続きます。三年生は受験が目前となり、常に受験を意識します。二年生はというと、学校の仕組みもわからず、受験もまだ先です。「慣れ」が「だらけ」につながってしまっていて、これが世間一般でいうところの「中だるみ」となります。そして「慣れ」とは「慣れ」が「だらけ」につながってしまっていて、これが世間一般でいうところの「中だるみ」となります。

またクラスの中で歴然と他人との実力差が見えてくれば、がむしゃらに上位を目指していきたくて、手探りの緊張感が続きます。三年生は受験が目前となり、常に受験を意識します。二年生はというと、学校の仕組みもわからず、受験もまだ先です。「慣れ」が「だらけ」につながってしまっていて、これが世間一般でいうところの「中だるみ」となります。

強くなれ!

第三学年主任 猪 茂男

時代は平成から令和に変わり、五月の十連休、三年一度の桜祭りと大変な年になりそうです。大学入試もセンター試験最後の学年であり、涙は避けたいと考えている人も多いでしょう。磐城桜が丘高校のようにほとんどの生徒が大学進学を目指す学校では、この一年は君たちの将来を左右する大きな一年になるとも言っても過言ではありません。

今現在、部活の主力メンバーとしてインターハイに向けて練習に打ち込み、勉強との両立に励む者、空き時間を利用して

目標の大学を目指して、一生涯命を懸けて進む者など様々です。が、後に悔いを残さないよう全力で頑張ってください。三年生は進級し四階に移り、校舎からは桜の絨毯のような素晴らしい景色が眺められます。君たちはこの美しい環境の中でどのような未来を思い浮かべるのでしょうか。桜は厳しく冬を過すことで美しく花を咲かせます。君たちも同様です。辛抱強く取り組んだ努力はきっと実を結ぶはずです。

三年次は年一回の模試が計画されています。この模試を繰り返して復習しましょう。模試は自分の弱点をすぐに発見することができ、その弱点を中心に克服していきやすいです。模試は君まつていくはず。模試は君まつていくはず。模試は君まつていくはず。

う。そういう状況の中で自分の掲げた目標のためにどれだけ努力できるかが、その人の強さ、でもあり、価値、でもあります。目標実現のためには、きつと大きな壁が立ちます。乗り越えよう。その壁を低くするのは、自分の力で壁を乗り越えることです。壁を乗り越えよう。その壁を低くするのは、自分の力で壁を乗り越えることです。壁を乗り越えよう。その壁を低くするのは、自分の力で壁を乗り越えることです。



旅路が厳しくても…夢に向かって前進!

第二学年主任 豊田 浩美

「二年生は中だるみする学年」というのは本当でしょうか。一年生は高校生活の何もかもが初めてで、手探りの緊張感が続きます。三年生は受験が目前となり、常に受験を意識します。二年生はというと、学校の仕組みもわからず、受験もまだ先です。「慣れ」が「だらけ」につながってしまっていて、これが世間一般でいうところの「中だるみ」となります。そして「慣れ」とは「慣れ」が「だらけ」につながってしまっていて、これが世間一般でいうところの「中だるみ」となります。

またクラスの中で歴然と他人との実力差が見えてくれば、がむしゃらに上位を目指していきたくて、手探りの緊張感が続きます。三年生は受験が目前となり、常に受験を意識します。二年生はというと、学校の仕組みもわからず、受験もまだ先です。「慣れ」が「だらけ」につながってしまっていて、これが世間一般でいうところの「中だるみ」となります。

心にした学習・授業・復習という一日のサイクルです。次に定期テストを見据えた、週末課題や小テストの準備・復習・定期考査準備・復習という中期のサイクルです。その結果として、国語・数学・英語の学習習慣を確立できたかと思えます。私は勉強をする上で「モチベーション」が最も大事だと考えています。モチベーションは「面白さ」という気持ちは湧きませんが、最初はやらされている「感」でいいからやらせてあげれば結果がついてくる「感」を実感すべきです。また、「中だるみ」は次のステップの入り口とも言えます。

二年生のうちに「言われたからやっただけ」の状況から脱却しましょう。そして「得意な科目を作ること」は、特に国語のうちのどれかひとつを重点的に取り組み、文系なら地歴、理系なら理科の科目を得意科目にします。国語は英英はあらゆる「基礎」ですが、大学

